

# 全6回開催 タゴールソング ワークショップ ～ベンガル語で歌おう～

記念館創設者の大倉邦彦と所縁のあった  
インドの詩人、タゴールが作詞・作曲した  
「タゴールソング」を味わい、ベンガル語で  
歌う貴重な機会です。

## ◆日程:全6回

4月28日(土)、  
5月12日(土)、26日(土)、  
6月9日(土)、23日(土)、  
7月7日(土)

\*7月14日(土)に自由参加の発表会・演奏会を  
予定しています

## ◆時間:10時00分～11時30分

## ◆場所:第6集会室

\*4月28日、6月23日は第5集会室

## ◆定員:18名まで(1コース全6回)

## ◆対象:一般、学生

## ◆参加費:6000円(全6回)

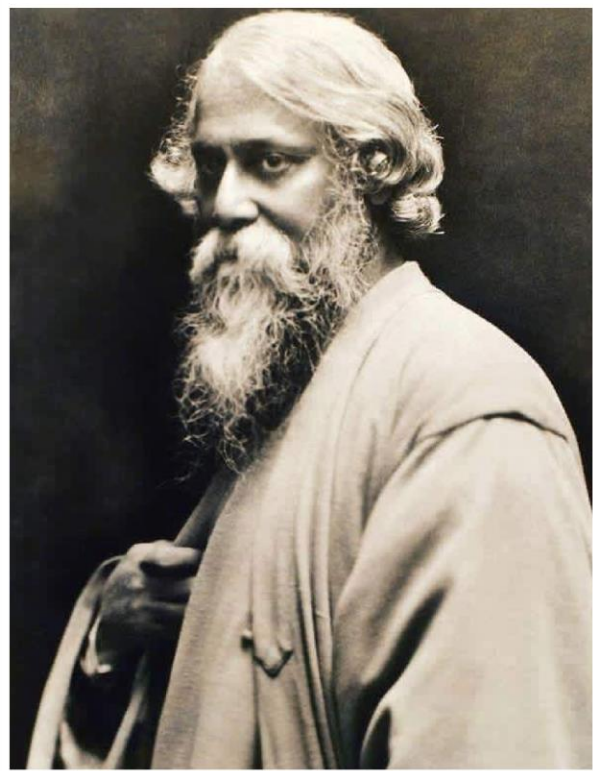
## ◆講師:奥田由香

東京外国語大学、外務省などでベンガル語、  
タゴールソング指導

## ◆申込:3月7日(水)10時より

大倉山記念館(窓口・お電話)で  
受付/045-544-1881

※定員になり次第締め切りになります。



アジア初のノーベル文学賞受賞者として知られるタゴール



インドの弦楽器「タンプーラ」に合わせて練習します



主催:横浜市大倉山記念館・(公財)大倉精神文化研究所  
後援:日本バングラデシュ協会



# ご参加要項

## ◆講座の内容

ベンガル語で綴られたタゴールソングは、100年の時を超え歌い継がれています。それは、ベンガルの民にとってどんな歌なのでしょう。タゴールの言葉を掬い上げ、旋律に触れる中で、私たちの心に響いてくる普遍なるメッセージを歌ってみましょう。そこには、タゴールの友人で、大倉山記念館を建設した大倉邦彦氏の精神と通じる何かがあるかもしれません。本講座は課題曲2曲を中心に、原語ベンガル語で歌うという珍しい機会です。歌を楽しみながら、その真髄に迫ってまいります。

## ◆カリキュラムについて

第1回: タゴールソングって何でしょう? ベンガル語の響きやインドの旋律について解説、鑑賞、体験します。また、課題曲の取り組み方についてご説明します。

第2回: 課題曲1(うららかな春の無常)①

第3回: 課題曲1(うららかな春の無常)②

第4回: 課題曲2(『ギタンジャリ詩集-歌の捧げもの』より)①

第5回: 課題曲2(『ギタンジャリ詩集-歌の捧げもの』より)②

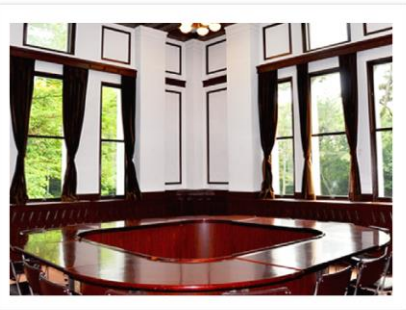
第6回: 課題曲の復習。タゴールソングのメッセージを受け止め、表現を深めましょう。発表会リハーサルも行います。

## ◆ご留意事項

- ① 飲み物(水筒・ペットボトル)、筆記用具をご用意ください。
- ② お休みになられても講習費用のご返還はございません。
- ③ お渡しいたしました資料の第三者へのご開示はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。
- ④ 会場には駐車場施設はございません。あらかじめご了承ください。

## ◆大倉山記念館について

ギリシャ神殿風の西洋的外観と東洋的な木組み内装の建物。横浜市指定有形文化財に指定されています。メイン会場の第6集会室は大倉邦彦氏の所長室として使用された部屋で、贅沢なつくりをそのまま残し、音楽活動への利用だけでなく、撮影場所としても人気の高いお部屋です。発表会場のホールは、木組みの天井が見所で、大倉山記念館の施設でも見学の希望の多い施設です。



メイン会場の  
第6集会室



発表会・演奏会会場の  
ホール



アクセス：  
東急東横線大倉山駅より徒歩7分

主催: 横浜市大倉山記念館・(公財)大倉精神文化研究所  
後援: 日本バングラデシュ協会